

通信・織りの風・ Vol-16

NPO 織風会・クラフトヌプリトック

昨年5月の連休明けに5類に移行した新型コロナウイルスへの対応は、海外からの観光客の増加・インバウンドに押し切られて、世相は2020年の年明けの頃に振り出しに戻りました。さらに円安傾向が拍車をかけて、海外からの観光客の消費は、築地あたりで5~6000円する海鮮丼を安いといって食し、新幹線の席を向かい合わせで確保して(一人2席分)足を投げ出して座っているという状況を垣間見ると、経済面での格差は拡大し、日本人の生活感覚・心情は不平不満が募るより、諦めの様相となっています。子育て支援や少子高齢化を是正する施策は根本的な対応はできているわけではなく、そればかりか増税としか思われない費用負担を就業者にもとめています。

政治資金の裏金問題も根本的な対応はされていません。

市の補助金で運営している織風会の会計は¥1円でも残れば市に返金し(残るところか赤字ですが)、財務諸表等法人の活動報告は毎年、その法人の事業年度終了後3ヶ月以内に、きちんと川崎市市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課に提出しなければならず、その情報は内閣府のNPO法人ポータルサイトに掲載され、だれでも閲覧できるようになっています！！

何百億という政党助成金をZEROにして、すべての政治活動に関する支出の領収書を義務付けさせた上で、精錬潔癖な人物しか政治活動ができないようにすれば・・・

この国も少しはまともになるのではないかと白昼夢をみています。

さて、新年度もはや一ヶ月が過ぎました。桜の花見はあっというま、モクレン、ハナミズキ、ツツジ、フジにモッコウバラも花の宴も散り急ぐがごとく、はやバラのつぼみも紫陽花の萼も膨らみ始めています。今朝・登戸の第一公園の植栽をみたら、アヤメがすでに咲きそろっていました。

そしていつもながらに、クラフトヌプリトックは従来通りに淡々と活動をしています。



ホントに10年ひと昔に・・・

織風会を立ち上げて10年目になりました。

当初・私自身いろいろな職種の対応をしていたので、現場は田口やパートさん達に任せてばかりで(><;、大変心苦しい日々を過ごしてきました。

そして4年前からのコロナ禍の対応、その渦中において義母、義父、母、義兄が旅立ち、最後には昨年8月下旬に父が母の後を追って逝きました。

この4年間は激変の時代と記憶に刻んで、この先しっかり生きていこうと日々考えています。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という事の無いようにしていきたいですね。皆さま今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ヌプリの玄関先のツツジ



今後の予定

☆特定非営利活動法人 織風会 年次定期総会 6月24日(水) 午後2時～

*パサーージュたま出店 *5/7日(火), 6/6日(木), 7/11日(木)

*KAWASAKI産SUN(武蔵溝の口)出店 ; 7月25日(木)